四神地名録 豊鴻郡 二之巻

WA 21
11
2

国立国会図書館　タイトル『四神地名録』　請求記号 WA21-11

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『四神地名録』請求記号 WA21-11

ガラス使用

武藏國

四神地名録

国立国会図書館　　タイトル『四神地名録』　請求記号 WA21-11

ガラス使用

武藏國豊嶋郡之誌下

古杉軒中稿

帝國圖書館

下赤塚村

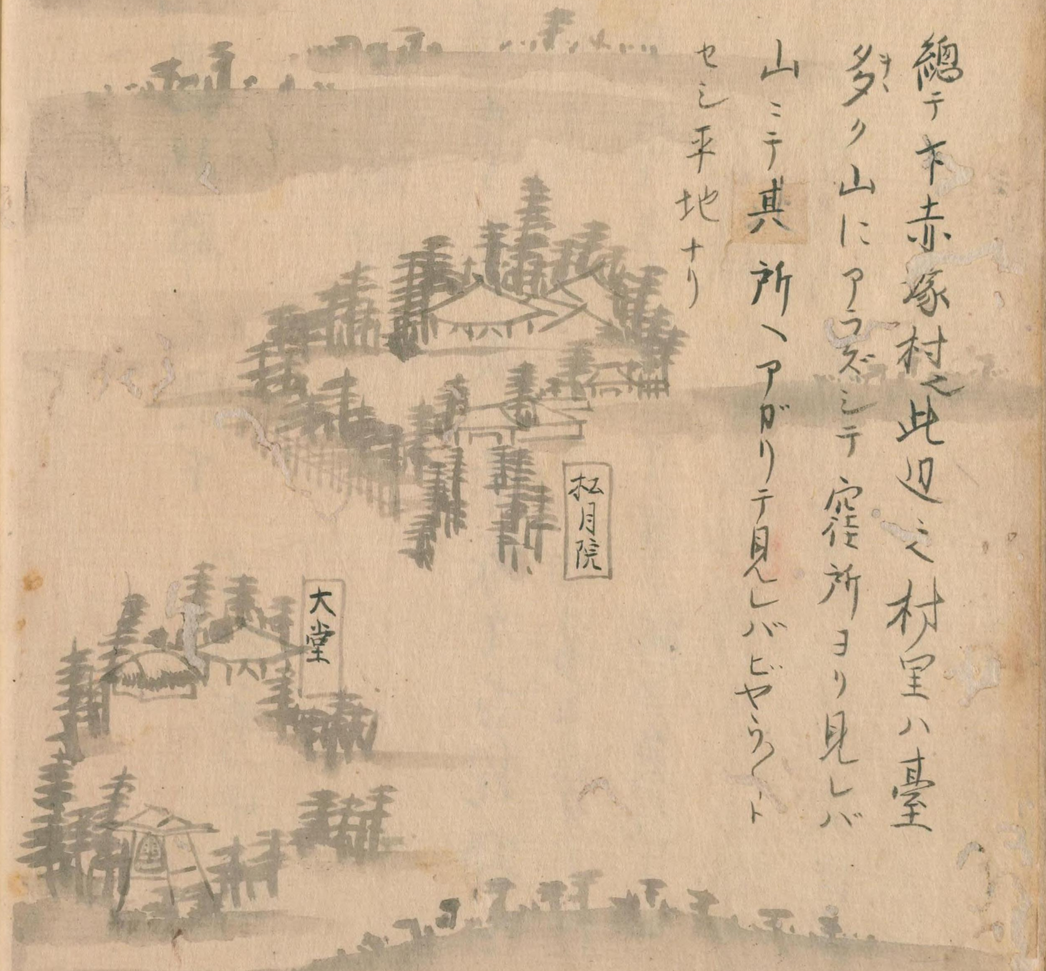
古墳多り墓表に赤塚を古見額を
書り故そう人を望人に由事を挙しに詳
ならざる迚郡名の如にて考事跡を失しる
多るべし村小古見許まて上世ある
雅名神祭りし祇社にも大既事を古
り

国立国会図書館　タイトル『四神地名録』　請求記号 WA21-11

ガラス使用

北

總テ本赤塚村ノ此辺ノ村里ハ臺多ク山ニアラズシテ窪所ヨリ見レバ山ニテ其所ノ〳〵アガリテ見レバヒヤウ〳〵トセシ平地ナリ



土人城山ト云千葉家ノ古城跡ニテ圍ノゴトク空堀（カラ）形ノ〳〵トアリ時代ニ詳ナラズ今ハ御林ナリ一所ニ九反アリト云ヘリ

廣シ山ノ形ト云ノミニシテ頂ニ畑アリ

国立国会図書館　タイトル『四神地名録』　請求記号 WA21-11

ガラス使用

名つけて田植(タウエ)を初(ハジメ)し上世人(サトシキ)条式(ジョウシキ)中(ノ)にて好(ヨキ)
例(タメシ)未(イマ)だ古(フル)を改(アラタ)めず今(イマ)に至(イタ)るまで百姓(ヒャクセイ)大(オホ)勝十四雑
祭(マツリ)を社(ヤシロ)に預(アヅカ)りて別当(ベットウ)常福寺(ジョウフクジ)を号(ナノ)る
に因(ヨリ)て夜参(ヨマヰリ)の式(シキ)あり初(ハジメ)保(ホ)
を保(ホ)つ〳〵農(ノウ)を勧(スヽ)め耕作(タガヤストコロ)の具(ソナヘ)を称(スヽ)ニ所(ヒロ)こゝら
こもく〳〵謝(ワビ)う〳〵まそらぶ
をみやうの云(イヒ)て苗代(ナハシロ)こゝらくの高砂(タカスナ)を
手(テ)をうそ人(ビト)も枚面(タメン)をかぶ〳〵も鍬(クハ)をつけ

そ人を這(ハ)せ競(キソ)をかく角(カド)を
座(ザ)〳〵兄弟(キヤウダイ)を引(ヒキ)まとし〳〵又(マタ)八人の
ちりト称(ショウ)する者候(モノソロ)の歌(ウタ)を
かけて田仕(タツク)るをたに仕(ツカ)事(コト)を農業
乃(ノ)ひ牛(ウシ)一つを追(オ)さうこう肥(コヤ)しと
り真(マ)ぐる手(テ)のよ〳〵歌(ウタ)時(トキ)〳〵
高笑(タカワラヒ)ひとして手(テ)をたゝく〳〵ゴサル本(モト)こと穂(ホ)
やてうの〳〵ヨナゴウ〳〵イナゴウ〳〵
け時に老人(ロウジン)の歌(ウタ)にこ〳〵
頂(イタヾ)ヨナゴウ〳〵イナゴウ〳〵
庵(イホリ)上(ウヘ)にて

国立国会図書館　タイトル『四神地名録』　請求記号 WA21-11
ガラス使用

月おやこ〳〵立百叶九万叶十二ノクラヒラク
甲又女ヘ太高比稲うゑ上ル天太玉尺比命
およ〳〵ヒ云甲又女ヒ婦人の面とかぶり太高比命
猿田彦乃面とかぶり天太玉尺比命ハ弊を持ち
ゐり右二ツ乃面作の面ヒ云〳〵ヒ半面
面ゐる鼻ヒロヒをかけ〳〵古面之甲又女太高比ヒ
ちゑヒ云ヒ云ふ意を〳〵天孫にヘヨ子ぎりを献し
ゐる人形をして婦人の姿を作て弁当とそを
卫ヒヤ〳〵ヒいふ〳〵食事酒を持てゐる事ゐり
ものとらふ〳〵春のはやし一踊りおそ〳〵こゝゐ

ヒ云ゐりて百叶踊りヒ古風のおもゐまゐして
ゑ稲まゐて雅ゐりヒの事〳〵ヒ候ヒそれ米
酒ヒいヒそれ安松の弥ヒ〳〵ヒ
ヒちてよろ〳〵時半ゐり叶時八人の献ヒ
大ゐヒそろげヤウ〳〵大山さゝれ黒雲が奔ひ
そや中ヒらふ〳〵あて稲まろカセゴト云ハ稲を苅
ゐれ高松ヒ〳〵五万叶九万叶ノ稲を一万叶ヒ
演ゑまゐまいるヒ古ヒの稲を蔵につゐ今ヒの。稲ヒ
をにつゐヒ云ふが弁事比。終りヒ比。室人の

国立国会図書館　タイトル『四神地名録』　請求記号 WA21-11
ガラス使用

物語りを聞を始めて今に
世の人口に膾炙(カイシャ)し
仕来(シキタ)りし古(イニシ)への神祭の
き法式をうしなひて執行(トリオコナ)ひまつる
かゝる百姓らのみも村々の
をも償(ツグナ)ひ拠(ヨ)りて
五万町の万町の内を一戸町
ちをも云つゝを故(ユエ)
古(イニシ)へより誰(タレ)創(ハジ)めそ

諸侯おの〳〵土
大名を称(トナ)へ
より初りし称号(トナヘ)井田(セイデン)
より

一村一郡一
体(テイ)八一田
百姓八
田八償(ツグナ)ひ

稲	稲	稲
稲	公田	私田
稲	稲	稲

田所を
小名を云名田を
井田を云
公田を
此剣を
八田を
私田をも
私田多分(オホカタ)にて
誓(チカヒ)その祀(マツリ)の
今(イマ)に

今よく考(カンガ)へそのもの
こも上世の百姓(オホミタカラ)を
称(トナ)へ
今の世に

国立国会図書館　タイトル『四神地名録』　請求記号 WA21-11
ガラス使用

百姓ものうるおひに土ぐつにて土ぐつを脱ぎ一手に耕(タガヘ)作農業をし支(ツカ)を剣(ツルギ)鋤(スキ)鍬(クハ)をもつて世(ヨ)の土ぐつ脱ぎたり。

土ぐつ百姓多き中に山城井田(ヰダ)村法(ホフ)ぐつ言葉のやうに文徳天皇九年四月八日井田村法ぐつ言葉を以て名を刻(キザ)み時に月日本ノ高二十二百二ツ

井田村法ぐつ言葉を以て名を刻み時に月日本ノ高二十二百二ツを記(シル)し置(オク)まゐらせ候(ソウラ)ふ事(コト)

右(ミギ)の書(カキ)ものゝ如(ゴト)く法ぐつ言葉を以て名を刻み時に月日本ノ高二十二百二ツを記し置まゐらせ候ふ事

右の書ものゝ如く法ぐつ言葉を以て名を刻み時に月日本ノ高二十二百二ツを記し置まゐらせ候ふ事

等而(シカシテ)山林海沢原野(ハラノ)を開墾して新田を計(ハカ)ること五千余百石(コク)に及(オヨ)ぶ井田ノ制(セイ)を考(カンガ)へ見(ミ)るに今郡縣(グンケン)(ヲサ)めて聖仲(ヒジリナカ)ノ制(セイ)を踏(フ)襲(シウ)するが如(ゴト)し

遠き

聖仲ノ制を踏襲するが如し

法仲を作(ツク)りて名を刻(キザ)み時に月日本ノ高を記し置まゐらせ候ふ事也

同所

大当(タイトウ)ざいとくる歓迎堂(クワンゲイダウ)ふくる土人の云(イヘ)ふ

国立国会図書館　タイトル『四神地名録』　請求記号 WA21-11

ガラス使用

大同年中の建立なりしより今を上寺家下寺家なり
地名堂ノ前屋にありしより古く寺下町ともいひ
ましし所を云つけ所に古仏珍ありとも
銘に

武之豊郡州之宝鎮崇山崇福山
襄我殊後鳥氏范鏞以落幕
大和大鳴鯨孔霆震啓昏迪遂
遊迹感追却石有消洪音無盡

暦應三年庚辰四月初八日

筆執三位親慶

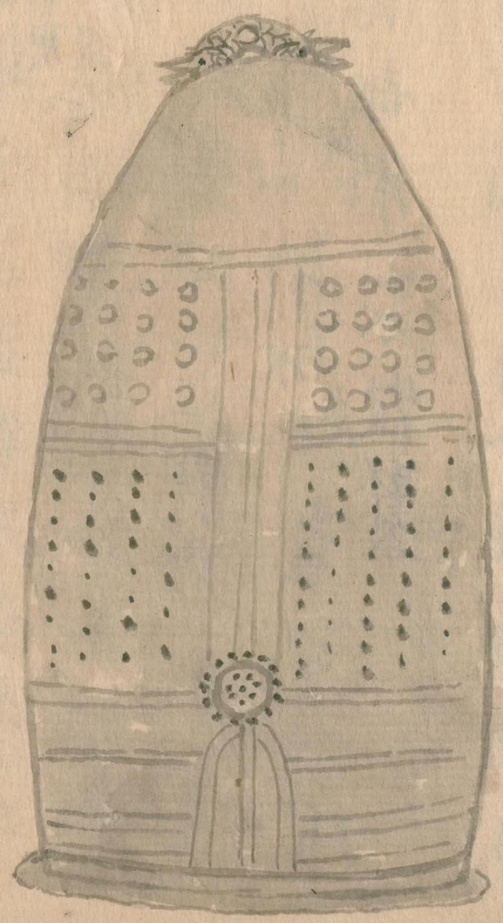
大工平次五郎行次

勧進沙門治部阿闍梨牧賢

暦應二年八月吉日寄進百年
余ゝ年(及ヵ)古仏珍ありしかし破損ありしに
ゆえ云々ゆえ拾ひ集めたる仏ゆえに
勝しり珍ありしを国人ゝ細かゝ龍

百吉山松月院宗派浄土
称迎帰本尊阿弥陀如来
隆松寺と号し寺領二百五十坪
建立せる寺内に松月院殿南州玄参
大禅門と華表永正と庚寅
年六月十日を記せし古墓あり
建立年号古く見ゆ
墓の墓あり
注に曰く
に静かに

長サ凡五尺
サニワタシ
二尺二寸



訳人所見の行状を銘す仏語に
して長く字に昧しみ文に泉福寺
真福寺両院之禮あり

梅の[illegible]に文化の[illegible]
古墓そこかしこ
寺院やしきの[illegible]
家ことわざの[illegible]
心花も迷ひ

同村

開戸山と云所梅のうつくしきこと
[illegible]のごとく風ありて北東のこと
[illegible]
山ぞうくとせせらぎ[illegible]

国立国会図書館　タイトル『四神地名録』　請求記号 WA21-11
ガラス使用

當出在〳〵ノ下民共ニまで其
物言語ヲ上方勿体出来ル事ハ
ノ如ニ不及雑芸ノ如キ何ニ
モ〳〵ノ上方ニハ勝レ者ノ多ク其ノ
質朴ニシテ剛勇ノ士ヲ上方ニ勝レ
サセリ〳〵ニ思ヒテ何ノ
ノ如ク〳〵ニ簇多(ヤヅ)ク
益ム者ノ如シ〳〵ニテ感ジ
事ハ上方ヨリ頻ノ如ク〳〵ニ
事ヲ猶ヒ〳〵ニテ益ム
事ヲ栗林ノ如キ〳〵ニ
ノ如ク〳〵ニ竹林ノ如キ〳〵ニ等(ラ)
ノ如ク〳〵ニ上方ニ出来ル筆ノ
ノ如ク〳〵ニ梱ヲ猶ヒ〳〵ニテ益ム
事ヲ栗林ノ如キ〳〵ニ梱ノ如キ〳〵ニ
ノ如ク〳〵ニ枝(エダ)ノ如キ〳〵ニ

ノ如ク〳〵ニ時ヲ
ヲ述〳〵ニ石ノ如キ〳〵ニ村ノ
整(トヽノ)ヲ言(イフ)ノ如キ〳〵ニ生(キ)ノ如キ者ノ如キ〳〵ニ
俗ヲ百姓ノ如キ〳〵ニ似合ノ如キ〳〵ニ
ノ如キ〳〵ニ事ヲ訓(ヨム)ノ如キ〳〵ニ
馬鹿(バカ)ノ如キ〳〵ニ稗(ヒヘ)ノ如キ〳〵ニ
國東郡ノ如キ〳〵ニ膳(ヒエ)ノ如キ〳〵ニ
ヲ〳〵ニモ今ノ如キ〳〵ニ
ノ如ク〳〵ニ思ヒテ
ノ如ク〳〵ニ家(イヘ)ノ如キ〳〵ニ
ノ如ク〳〵ニ海辺ノ如キ〳〵ニ

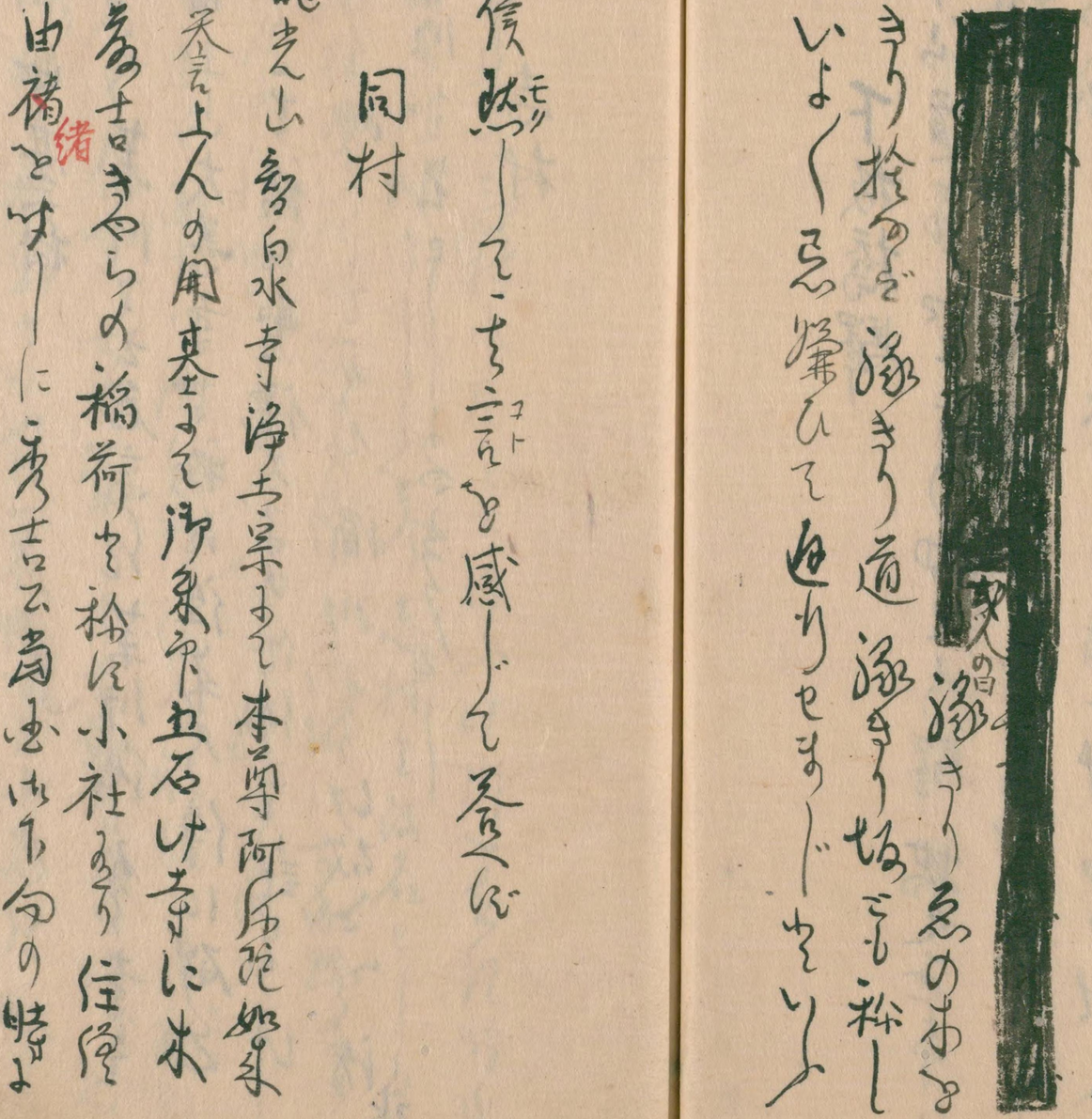
国立国会図書館　タイトル『四神地名録』　請求記号 WA21-11
ガラス使用

下板橋驛

中仙道第一の驛場なり初て
諸侯を迎ふ一東海道七川より八
つかく程一こゝ家体大
なる故に四きく人旅人
許まて倘家をならべ
家造りも北下屋をうて大樹入樓衛を
ふうへに雪(ユキ)除(ヨケ)かりて軒端
須(スヘ)ほりを掘(ホリ)きり雪(ユキ)を積(ツミ)
室入りて人ハ忌(イミ)籠(コモ)りをし
ぬ下を

国立国会図書館　タイトル『四神地名録』　請求記号 WA21-11
ガラス使用

迫りて大ひにまろびて
よ世のつひもさゝ〳〵
末々枝に等つゞ(ノ)玲瓏をつゞして
ゝり拵そのゆ怪まこもりて
邪亡ゝる魂のそ
衣そのゝ怪まこもりて



きり拵ゞ湧きり道湧
いよ〳〵弘猛ひて迫りせまりて

儻然(モシ)こゝ言(コト)を感じて答ゞ

同村

龍光山 智泉水寺浄土宗本尊阿弥陀如来
見参上人の開基なり御朱印石ゟ寺に来
下ゟ古きゟの稲荷を移して小社ゟり住候
に由緒(緒)をゞ〳〵に秀吉公高徳の時よ
ゟ祈願を致し〳〵稲荷を云ゝ秀吉公命而、下
向ゟりしゟ小田原陣のゟのゞ天正年
陣の事ゟゝ秀吉ゟのゟ秀吉いゟゟ秘ゞ

国立国会図書館　タイトル『四神地名録』　請求記号 WA21-11
ガラス使用

名をつけしを由也稲荷の字(アザナ)なるべし

中臺村

清水 第師を云名高き兒第師佛ゐう寺を
醫王山大善寺と称に往来ふ信に碑ゑ
ゐうこと路に聖徳太子の仏佛を誌ゐうけ
所を峽(ケ)下よりゐう湧(ヨウ)泉ゐう故をゐう清
第師をゐうよりゐうなるべし

志村

古き人の志村入庄を云ふ
塚ゐう門村を云しゐうを今志村と名しゐうを
志村ゐう庄の故ゐうなるべしけ北に古き跡ゐう
仰人の私(ケ)領せしゐうを峽(ケ)高く南方八深兒郡内
云ふく大ゐう士ゐう第一古塚を云ふくゐう
隣(トナリ)村の前野をゐうに一夜塚を云小高兒塚ゐう
ゐうま一夜のゐうちにけ塚を築兒て塚中ゐう石
矢を射入しにより名ゐうと云ふ塚を
来(キタ)る弥(イヤ)生の日本俗(ヒトビト)ゐうに塚を
造(ツク)ゐう事ゐうに塚を人姓名ゐうものゐう

国立国会図書館　タイトル『四神地名録』　請求記号 WA21-11
ガラス使用

赤羽根村

磐亀山東光寺新倫の真言宗本尊薬
師佛ハ弘法大師の作と傳ふるもの
緒

同村

赤羽八幡宮ハ文治年中七ヶ条太田ろ一道灌
再建之ト社ニ云傳ふ神宝に獅子脇ニ
古代面二ツ宝剣を秘ス純刀一腰ありと
由来ものハ

稲付村

自得山静勝寺曹洞派の禅宗ニ

国立国会図書館　タイトル『四神地名録』　請求記号 WA21-11
ガラス使用

け拓太田道灌乃古城跡を訪ひ靜勝ハ道
灌の法名まて祀るを以て觀音け寺の古佛
まて道灌乃像をうつし長二尺ばかり入道姿
まく掛(ホッ)ると持し對(ソウ)想達ア龍う池より出現ありしを誹(そし)ア天
道灌乃枝うを二タまた竹のしを右く
尺くばかりの境内に古木の杉(天蓋)古木の杉(立槵)を植を粉ぐうる
道灌を詣ア龍にかしこ
ア凡うる地ごよる二徳五年の銘

まをかして古うびごとへごも古物を珍をせし
ものある證の貴を以てよく自然銅乃ゆに
尺へしく

同村

妙覺山普門院新陽真言宗古事第十四二年
この乃由緒(緒)をかしふるの三も旧地を尺く建武年
中徳治ら年中嘉暦ら年中の古墓尺へしと
古へくの凡俗あの梵(ボン)字を彫ア乃のとゆして仏
乃墓をうる事を初のし

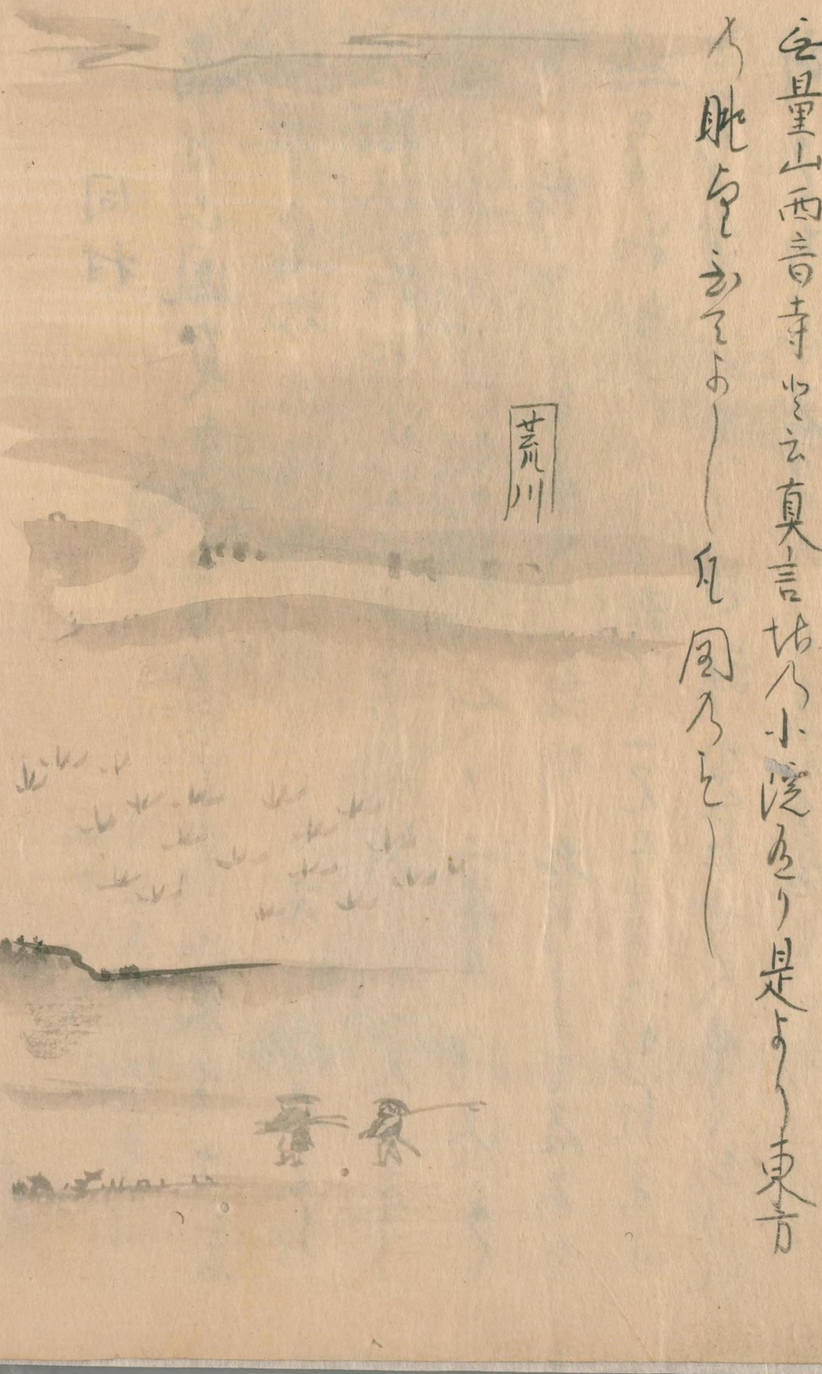
国立国会図書館　タイトル『四神地名録』　請求記号 WA21-11
ガラス使用

松楓相生の大樹

同村

稲荷山鳳凰寺と云日蓮宗の寺あり古
二千金宝物由緒をつゞりたる
大樹の松に枫木の生ずるを
申ぐりし所一木を又ハ二木を又ハ
世に稀なる事なれ共諸州
称ふる松樹枫木を数く二見せしにかゝる事
を見る事初てなり迚都而
所ゟ多く名木名高かゞし

十條村



荒川

常州
筑波山

西音寺ヨリ丑寅ノ間ニ
見ヘテ曲道ヘ四里ト云

日光山西音寺ヨリ
亥子ノ間ニ見ヘ
ヘ三里余ト云

淺中ノ堂ヲ
辰巳ニ見
千住驛ヲ
辰ニ見ル

御成道

国立国会図書館　タイトル『四神地名録』　請求記号 WA21-11

ガラス使用

圖せる所入萱野芝地入廣大なる事計り屋うちを
割田のごとくせる凡そ二千余石を出すべき萱野なり
秋冬のころ今を殿大にして殿茸とす
しけ原乃名産なり凡地を秘ひらき昔時入川筋
入よりー里りくて長さ百余間横さ二十間
七八十間入所そこそこ多鳥ありて石及雜魚(ナマズ)
鱣(ワニ)裏ノ多ーこの井ニ井(コウ)
ありて深淵ありて魚多し
水あり蛭(ウル)多屋ニ所ありに今をむうにおそれ
不思議をいう屋ー凡池も池ありけり井ニ井あり

国立国会図書館　タイトル『四神地名録』　請求記号 WA21-11
ガラス使用

[illegible]ぬしをも土人物識[illegible]
[illegible]を尋ねに詳かなるを得ず八上カ
[illegible]中出雲出雲多和を絶てあれ共
[illegible]をせず凡景ハ[illegible]なみ原野もて囲画せる
[illegible]ものかし
荒川入[illegible]と云是より蔵人驛

豊鳴村

此村に醫王山清光寺[illegible]
醫王山を云へども本尊等を不[illegible]
[illegible]へし昔ハ此地を豊鳴九齋閤尉清光[illegible]
云ひ人の旧舘を寺地[illegible]
[illegible]せしとぞ
[illegible]云九齋門に一人の老女[illegible]
定て如何のうち[illegible]書に遠[illegible]
[illegible]てや九齋門を如何のし
[illegible]て如何[illegible]
[illegible]

国立国会図書館　タイトル『四神地名録』 請求記号 WA21-11
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『四神地名録』　請求記号 WA21-11

ガラス使用

流し来りて今の星人姓しく思ひて
今時もしに御堂のそばに
ありて其場所に立ち暗くて霊来りまを
言ふに依りて其故にけ御堂をまもりて主の姫
詣り御堂に籠りて六躰の阿弥陀まを祀
ひ奉りて其人退去仕奉りし主や
今より六阿弥陀を祀りて古跡所やより一番
を豊島村に二番八沼田村こちん西ノ原村に番
田端村五番下谷六番亀井ご村にまりかく

下谷八江ノ原コウジノ

[illegible]にて安置せし事を猟死せし
十二人の塚をおがみ
還せしの御所仏をおがみ
けり物語をけりの土塔
を島鳥を太田道灌の
宝ささら形墓芸薩乃まを
付ちに不合せ(遠)語りて
二人ありきさを土人
時代をうつしまる船

国立国会図書館　タイトル『四神地名録』　請求記号 WA21-11
ガラス使用

菅中入日見おろし峠を越りて一村宿入凡
土と赤く見ゆ一に荏原郡と字地一土地
も多くよろしかるべし土質黒く厚き故
おのづから肥地なり吹ちして越りもおの
玉敷入そぶちいく家のこと
在所松あまた民家の多まちいく畑
人物言語も殊にいく大下く出入凡土ち
江戸かくといふ人を思ふそうれ松と云東
海道海原[redacted]川にそひ一村宿にそひ
よく屋そわしてつのいくかぞえこころも豪

家そこそいく民家これ物にかいく百姓入多
こおのいくそ江戸にかひて北おく百姓もの
飲食
呑くいく入香うまうまて費多き
玉郡入平均荏原郡にかそうく庶事
辺の土地そかいくかぞえ古いく庶と云そ
もろかりそ思ひいく郡を玉川に添
いく村くそかいく入一に平洲街道多
東海道そ遠ひそ一面野入住れ元そいく入て
そうかいく一面野住れ元そいく入て
こが茶屋そうかいく入凡

国立国会図書館　タイトル『四神地名録』　請求記号 WA21-11
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『四神地名録』　請求記号 WA21-11

ガラス使用

かくまでに勝者多き事
天地の生々化育を
うべ不審なきにあらず一見れば誤りの
如くなれど大要を故なく
改めざるを以て
なるべし

武蔵國豊嶋郡と記下くに終

右
豊嶋郡ハ一郡之内四合ノ地ヲ
通行せしと記之

国立国会図書館　タイトル『四神地名録』　請求記号 WA21-11
ガラス使用

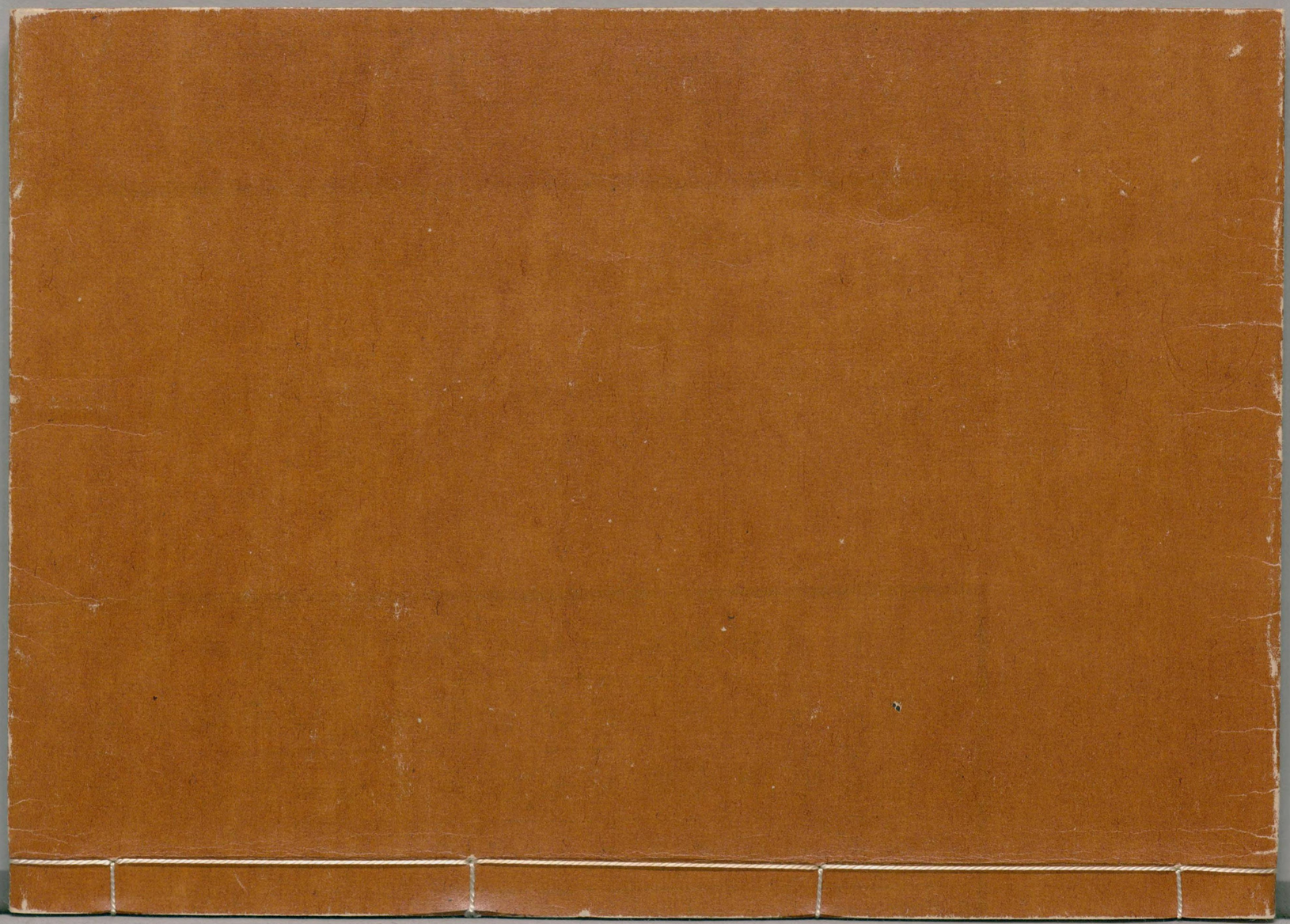
国立国会図書館　タイトル『四神地名録』 請求記号 WA21-11

ガラス使用

賀 7
10
51

国立国会図書館　タイトル『四神地名録』　請求記号 WA21-11

ガラス使用



ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『四神地名録』　請求記号 WA21-11